町を守る頼もしい火消したち

まちの安全と安心を守る強い味方…葛巻町消防団
それぞれに仕事を持ちながら、ひとたび火災や災害が発生すれば一目散に現場に駆けつけ、消火活動や災害防止活動に当たる心強く、頼もしい男たちである。
そして、この消防団には親子で、兄弟で活躍する団員がいる。深い郷土愛と使命感に燃える「消防団の町・くずまき」を支える大きな財産でもある。

葛巻町消防団
長岡（ながおか）　宏（ひろし）　団長

町民の生命と財産を災害から守る…これが私たち消防団の使命。一致団結して防災活動に励みます。
【発足:明治36年　団員:305人】

葛巻町婦人消防協力隊
元村（もとむら）　トモ　隊長

家庭の防災と地域の防火意識を高める活動のほか、消防団活動に協力しています。
【発足:昭和56年　隊員:253人】

表彰された皆さん

消防活動に功績があって表彰された方々は次のとおりです。
（敬称略。階級は現職。氏名の後の○内の数次は分団名）

■日本消防協会会長表彰披露▽精績章・横山弘（副本部長）■岩手県消防協会会長表彰披露▽功労章・木戸場敏昭（本部分団長）▽功績章・久保義明（⑦分団長）大下孝（⑭分団長）▽婦人消防協力隊員表彰・村中千鶴子（副隊長）▽内助功労者感謝状・外村郁子（④分団長令夫人）久保てる子（⑦分団長令夫人）■岩手県知事表彰披露▽功績章・村木淳一（前③分団長）外村浪次郎（⑤分団長）■岩手県消防協会岩手地区支部長表彰▽功労章・葦名浩幸（③副分団長）鈴木満（⑤部長）中山優彦（⑤部長）樋ノ口康（⑥班長）大崎克彦（⑫副分団長）下大澤智（⑮副分団長）▽精錬賞・大川原崇（②部長）山中義忠（②班長）志田崇（③部長）内藤清昌（④班長）鈴木政勝（⑤班長）青苅晃彦（⑦団員）東舘光夫（⑩団員）佐々木浩美（⑬班長）向川原等（⑮班長）打田内茂（⑯班長）■葛巻町長表彰▽退職消防団員感謝状【勤続10年以上15年未満】柳岡利之、上柳勇、河原将也、上路秀一、鹿糠重光、漆真下満、端坂徹【勤続15年以上25年未満】大石照雄、遠藤正彦、小田隆夫、林勝則、波紫與志彦、觸澤茂嘉、久木幸二【勤続25年以上】吉澤春雄、竹花純一、村木淳一、川戸徹、下道久男、本宮秀彦、平中長治▽無火災表彰（15年間）第10分団■葛巻町消防団長表彰▽無火災第1分団（3年間）第16分団（5年間）第17分団（7年間）第7分団、第13分団（10年間）▽親子団員　林栄治・林和孝　向川原徳志・向川原敏之▽兄弟団員　向川原泰徳・向川原敏之　杉本基成・杉本信二

堂々優勝の第１分団の競技

町の代表

今年も第1分団と第6分団

ポンプ操法競技会

好天に恵まれた絶好の操法日よりとなった５月24日、町ポンプ操法競技会が総合運動公園駐車場で行われ、雪解けから厳しい訓練を積んできた団員らは、その成果を余すところなく発揮しました。

県内トップレベルの実力を持つ本町消防団の大会とあって、盛岡市や矢巾町など近隣市町村からも多くの参観者が見守る中、選手らは活気みなぎる競技を展開しました。

審査の結果、自動車ポンプの部は３年連続で第１分団が、小型ポンプの部は第６分団が７年連続で優勝しました。

本年はポンプ車の全国大会開催の年。「７月の岩手支部大会と県大会を勝ち進んで全国へ」と関係者は期待を寄せました。

上位入賞分団

《自動車ポンプの部》
①第１分団
②第４分団
③第12分団

《小型ポンプの部》
①第６分団
②第９分団
③第14分団

親子・兄弟で町を守るぞ！

息子が入団してから８年ほど一緒にやっています。

㊧橋本秀雄（父）
副団長
㊨松本　満（子）
第４分団・班長

いつも親子で出動なので、家族に感謝しています。

㊧林　栄治（父）
副本部長
㊨林　和孝（子）
第12分団・団員

昨年までは、母親も婦人消防協力隊でした。

㊥向川原徳志（父）
副本部長
㊧向川原泰徳（子）
第２分団・団員
㊨向川原敏之（子）
第２分団・団員

二人でポンプ操法をしています。兄は２番員、弟は３番員です。

㊧杉本基成（兄）
第17分団・班長
㊨杉本信二（弟）
第17分団・団員